

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



刊夕日八十二月八

定価 一月五圓 三月十三圓 半年三十圓 一年六十圓 郵税別 廣告 五號十二行 五號十行 五號八行 五號六行 五號四行 五號二行 日刊 日曜大衆 福島縣石城郡平町長橋町三三五番 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

移轉廣告
今般營業上都合により表記に移轉仕候に付相不變御引立の程御願申上候
水飴各種瓶詰
金世界葛糖
煉油香油製造
平町白銀町二五
卸商稻葉屋
伊藤商店

に ツルヤ商店
電話百四十
箱入タオル
ハンカチーフ
敷布
靴下
石鹸



貸家廣告
一、停車場前旅館水道造作
風呂附
一、内郷村小島紳士向住宅
八疊、六疊二間物置風呂
場附一ヶ月金拾貳圓
一、平劇場ワキ紳士向三間
金十五圓
一、同 勤人向金十圓
一、同 仲間町商店向金十圓
一、同 勤人向金五圓
一、同 金十圓
一、北白銀町同金八圓半錢
加藤營業所
白銀町 電話三三二番

第三病室 増設
高久病院
院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
平町田町電話五一三番

自轉車 轉音
のへ者用乗
福音
購入の便法あり
エバエストラ
キヤビネット
日掛けや月掛等の方法に依り望みに
依つては現品を前渡し致します
平町 塩越小路
自轉車及 鹽野平支店
附屬品店 本店 東京市神田區末廣町一〇

徳島 徳島 徳島
電話四〇番

三ツツ
現金月賦販賣
平町 ミシン會社支店
ハガキ 申込メ

イロキ
味の評判
オの部電話四六〇番
平町紺屋町(縣社通り)
教育玩具
毛糸 講糸
書籍 文具
花カルフ
トランプ
ハーモニカ
學校用品
食料 玩具
卸問屋 森下商店
目丁一町平

買ひよいい店... 安い店
新し味のある店
親切な店... 安心な店
小間物... 玩具
化粧品洋品各種
是非た立寄り下さい
平町三丁目角 平銀 行前
大黒屋陳列店

外科 専門
入院應需
上田外科醫院
平町南町 電話一二九番

代診至急入用
原齒科醫院
院長 東京齒科 石田仁
副院長 醫學士 石田仁
平町土橋通り 電話三二二番
辛口
チキン
ソース
甘口
パン粉
乾物煙草
海老屋商店
平町電話二三五番

●殺虫消毒防臭乳劑の世界的な新發明●
「乳劑カルシウム」
本劑ノ殺虫力ハ石油乳劑ノ約百倍ノ効力ト七十倍ニ當ル殺菌力ヲ持ツテ居ル事ハ帝大傳染病研究所及衛生試驗所ニテ證明シテ居マス
(本劑ノ特性)
一、人畜、植物ニ無害テ昆虫ノ幼虫及卵ヲ殺死スル
一、糞尿其他ニ用ヒラレテ肥料効力ニ變化ナク却テ殺菌ノ外完全ナシ殺菌アル故農藥施肥上頗ル安全ナリ
便所芥捨場等不潔場
殺菌除菌 植物等ノ
効能 (害虫驅除)
定價 五升分一本 金八拾錢
製造元 東京微生物研究所
福島縣一手販賣店
宇佐美藥局
平町田町(電話五五一番)

常盤論壇
田中床次の對峙
一 承前
茲に於てか所謂策士なるものが數次政本の合同若しくは提携を目論んでゐるが後繼内閣の問題で毎度駄目になつてを即ち田中床次の兩黨首が互に相譲らざる所に政本の合同若しくは提携が成立せぬ主なる原因がある而して此原因が存続する間は憲政會は依然として政界の中心勢力たる地位を保つことが出来るし従つて政變などは容易に起つて來ない然らば此原因は何時になつ

たら除かれるかといふと田中床次の何れか一方が政界の失脚者となつた場合に初めて實現されるのでその時期も餘り遠くはあるまい、併し今の所雙方が相對峙してゐるから漁夫の利を憲政會に占められてゐる而して後藤が何か田中と床次の間を斡旋したとか傳へられてゐるが政治の倫理化を唱へてゐる後藤が倒閣の目的の爲めに政本の聯盟を策するなどいふことは如何にも笑止な話で政友會の總裁たる田中が之れに應じなかつたといふことは寧ろ當然であ

明鮮美優 嚙可速敏
活版印刷の御用命を御願致します
所刷印日每警常 五三町橋長町平 (番〇三六話電)

靈境赤井嶽に 文化的大講堂

客殿を改造して

五日間の修養講演會を
 石城郡赤井嶽には從來の客殿を改造し文化的大講堂となし先月中は谷中博士を聘し各町村の學校教員に對し大講演會を開いたが來月は滑川中學校長の主催で地方中堅青年の爲めに五日間精神修養の大講演會を開く由

隣りの女を殴る

被害者平署へ

石城郡高久村下高久葉谷あさ(三七)は自分の屋敷内にあ

東久邇宮妃殿下 平驛御通過

御歸還の途次

東久邇宮妃殿下翁島より御歸還の途次松島を經廿九日午後三時十九分平驛御着同三時廿八分御發車御通過せらる同殿下には御疲勞に渡らせらる、御模様には付奉送迎は御遠慮申上ぐる様其筋より注意があつた由

蠶業取締

移轉の運動

既報石城郡町長會より久の濱なる蠶業取締支所を平町に移轉設置すべき陳情運動を川淵知事に爲さんが爲め明日會長伏見平町長、郡内縣會議員全部、蠶種同業組合酒井猶次氏等出縣する由

小鳥を飼ふ

藤田氏其他 同好者激増

石城地方では近來小鳥の飼養が東京地方にも劣らぬほど盛んで平町藤田裁縫女學校長藤田榮助、白土喜伯兩氏等を中心として同好者によつて先きに「小鳥の會」を設けて小鳥に關する研究相互趣味の向上と實益の増進をはかつてゐるが、藤田校長は校庭の一隅に完全な鳥

外國米移入は 平町が縣下で一番

炭礦労働者と漁業の關係で 比較的格安な所から

本縣下に於ける産米は漸次品質が改善されるに伴れ中央市場の聲價を高めつゝあるので縣外に移出されるものも尠くないが又一面縣下には部分的ではあるが多數労働者の集居して居る處並に市街地の關係から比較的格安に購買し得らる、朝鮮、臺灣米を初めとして外國米の如きも可なり多く移入され殊に端塚期に近き

小舎を作りカナリヤ、十姉妹、セキセイインコ等數百羽を飼養してゐる湯本町字關船神官金土重隆氏も百羽以上を飼養しその他各方面に小鳥趣味のほつ興驚くべきものあり藤田校長はこの程上京し數日間「セキセイ

磐中同窓會が 一萬圓の基金造成

昨日の協議會で決定

磐中學校同窓會前會長新田目春松、新會長白井一郎の兩氏及び新舊役員は昨日午後四時より磐城銀行樓上に召集し夫々事務の引継ぎを爲し今後の進展方針を協議したが夫れに依ると先づ各回卒業生中に一名乃至五名宛の委員を囑託し基本金の造成、會員動勢の調査等に當らしむる筈であつて基本金は一人一口五圓となし約二千人の會員に割當て一萬圓以上を造成する見込である

怪漢の曰く

オレは盗まぬ

二十六日午後七時半頃平町八幡小路を徘徊してゐる乞食体の男を平署の川上刑事が誰何した處盛んに「俺は盗まぬ」を連發するので平署に引致し取調た處當時住所不定無職盲人鈴木政之助(四七)と稱し同町八幡小路磐中學校下提灯屋から女履下駄並に雨合羽を窃取した

四倉町の火事

廿六日午後九時頃石城城四倉町



家庭欄

字中町佐藤鶴松方縮箱倉庫板の上に鍋蓋を押しにして重石をかけ、暫くそのまゝで水を切り、十分水氣が取れた頃鍋に入れ、被ふ位の蒸汁を加へ落し蓋をして暫く煮て、少量の砂糖と鹽及び醬油を加へ、薄く下煮をしておきます、次に井へ卵を割り込みよく掻き混ぜ、味淋三勺と鹽小匙一杯を加

増加して 來て居る

そのうちの最も多きは最も格安に購入し得らる、外國米で一萬四百七十六石で之れに次ぐは餘り品質の良好のものではないが内地米の玄米が一萬九千二百六十石と内地米と殆ど同様な内地米種による

朝鮮米の

玄米が三百五十七石であり少かつた方では臺灣米の百七十二石次が内地白米二百三十四石である、而して外國米を主として移入米の最も多かつたものは支所別に見れば炭坑労働者と漁業とを多く抱擁してゐる關係から平の三千七百二十四石が第一位で

インコ」の著者加藤正巳氏をはじめ及部信之助、鷹野高吉諸氏の専門家について小鳥飼養の實際狀況を見學と實益とのために是非一般家庭に飼養をおすすめした「い」と語つてゐた

耳の鬼

性病患者に嚴しい懲罰 勞農露國政府は今回花柳病患者にして他人にこれを傳染せしむるの危険をあへてしたる者に對しては六ヶ月以内の懲役または強制的労働を課する條項を刑法に追加するに決した

石城會計検査 本縣參事會員の石城郡會計検査は來月三日平町に集合四日から左の日程で行ひ九日解散す

平町人事

▲婚姻 △石城郡好間村會社員 鈴木忠重氏(二二六) 才助小路二須田サマ(二二三)
 ▲死亡 △新川町二四番時北海道國籍市高野徳重(二六) △杉平一七鈴木あさ子(七七)

初秋の料理 (三)
 ▼茄子の博多蒸し 茄子を強火の中に丸のまま、投じ、稍々焦げる位に焼いて清水に取り、手早く皮をむき、

大市街で

あり又一方製糸紡績等の工業地である福島の一千八百二十九石中村の一千二十石、郡山の九百九十五石、須賀川の九百五十五石等が順位となつて居る

細菌検査所

近く新築移轉

縣立平細菌検査所は目下平町字鎌田遊廓内にある治療院で田村防疫醫主任となり検査を行つてゐるが事務取扱上の不便が少くないので町と交渉現在の平町隔離病舎敷地内に新築移轉するに決し町との借入交渉は既に

湯本方面 作柄が不良

稻熱病の流行

石城郡湯本町大字開舟水野谷地方の水田十餘町歩に稻熱病發生した隣接した磐崎村下湯長谷附近では藤原川より揚水灌漑したところ藤原炭礦の鑛毒で水田が赤くなり稻の發育を害した所少なからず本年の水稲作柄は石城郡下一帯にわたって早害や病虫害發生したため發育不十分のところ多く半年作より約一割近く減收を免れまいと